

広報・教育部門

AR（拡張現実技術）で見えない下水道を魅せる

川崎市上下水道局

AR（拡張現実技術）を活用した下水道広報施設を整備しました！



かわさき下水道広報施設

ワクワクアqua
WAKUWAKU AQUA



360度
見渡せる！

アニメーションで
わかりやすい！

貯留管内部見学疑似体験

下水処理のしくみの説明

見学者の増加

広報施設の整備前（平成30年度）と比べて年間見学者数が大幅に増加しました！



PRポイント！

バーチャル体験で楽しく下水道を学べます。

- ・AR（拡張現実技術）を活用することで、タブレット上にCGや画像を重ね合わせて表示することができ、**目には見えない下水処理の仕組みなどを分かりやすく説明**しています。
- ・360度カメラにより撮影した映像を用いて、普段目にするのできない**下水道施設内部の見学を疑似体験**することも可能となっています。

取組の効果！

- ・見学者からは、「水がきれいになる過程がわかった」「水の大切さがわかった」「バーチャル体験が斬新」「先進的な事例が学べて大変勉強になった」等の感想が寄せられ、**下水道の役割についての理解を深めてもらうことができた**と考えます。
- ・バーチャル体験が特に印象に残った展示であると**6割以上が回答**しています。
- ・広報施設の整備前に比べ、**施設見学者数が大幅に増加**しました。

Key Person



（当時）施設課土木建築担当
神保和広

小学生から海外の視察者まで、あらゆる見学者にわかりやすい展示とするにはどうしたらよいかと考え、AR展示を採用しました。アニメーションや動画により、誰もが視覚的に理解できる施設とすることができたと考えています。また、施設名称についても市民からの公募により、素晴らしい名称を付けていただきました。

ぜひ多くの方に足を運んでいただき、楽しみながら、下水道の役割や重要性について理解を深めていただきたいと思います。